



青鬼納豆

道南平塚食品(株)

道産大粒大豆を使用した昔ながらのわら納豆に登別ブランド推奨品の『丸藤わさび漬』を付けました。

パッケージには登別地獄谷に棲む青鬼や金棒をあしらうなど登別らしさにあふれた商品です。



赤鬼納豆

道南平塚食品(株)

道産小粒大豆を使用した昔ながらのわら納豆にむかわ町穂別産の赤唐辛子を付けました。

パッケージには登別地獄谷に棲む赤鬼や金棒をあしらうなど登別らしさにあふれた商品です。



鬼伝説 金鬼ペールエール

(株)わかさいも本舗

登別のおいしい水とアメリカ産のアロマホップをふんだんに使用した地ビールです。

柑橘系の香りと強い苦味を持たせたアメリカンタイプのペールエールに仕上げました。



のぼ〜る

(有)かめや

登別ブランド推奨品の『のぼりべつ牛乳』や白老産さくら卵、道産小麦など地元の素材をふんだんに使用したロールケーキです。

カットすると断面に『の』の字が現れます。



新たな4品
仲間入り

2 / 22

平成24年度登別ブランド
推奨品決定

2月22日(金)、登別商工会議所会館で『平成24年度登別ブランド推奨品認定証交付式』(登別ブランド推進協議会主催)が行われ、厳正な審査の結果、認定された14商品の事業者者に認定証が手渡されました。

14品目のうち今回新たに認定されたのは『青鬼納豆』『赤鬼納豆』『のぼ〜る』『鬼伝説金鬼ペールエール』の4品目。再認定されたのは、平成21年度に認定され、平成24年度で推奨有効期限を迎える『登別閻魔らーめん』『文志郎の鹿角納豆』『鬼伝説青鬼ピルスナー』『鬼伝説赤鬼レッドエール』『のぼりべつホタテ燻』『丸藤わさび漬』『のぼりべつ牛乳』『のぼりべつ牛乳プリン』『極上シフォンケーキ』『らんぼっけのたらこ』の10品目。同協議会の成田会長は「今後も登別ブランドのさらなる普及のために、一緒に汗を流しましょう」と事業者を激励しました。



▲雪中みかん拾いの様子

みかんを目指して
よ〜いどん

2013 カルルス温泉冬まつり

3 / 3

3月3日(日)、カルルス温泉サンライバスキー場で、『2013カルルス温泉冬まつり』(同実行委員会主催)が行われ、家族連れなど1千800人の来場者でにぎわいました。

毎年恒例の人気企画『雪中みかん拾い』では、スタートの合図とともに参加者が一斉にゲレンデを駆け上がり、16箱分のみかんとじやがいもを数分で拾い上げました。

このほか『親子ボブスレー大会』や『オロフレ雪原宝探し』など、多彩なイベントを開催。40食限定で振る舞われた『石狩鍋』と『シカ鍋』は参加者たちの体を温めました。



▲勢いよくスタートを切る選手たち

50年の歴史に幕

登別大谷高校最後の卒業証書授与式

3月3日(日)、3月末に閉校を控えた登別大谷高校で『第48回卒業証書授与式』が行われ、最後の卒業生57人が母校を後にしました。

同校は、昭和38年に開校。8千人以上ののぼる卒業生は道内外で活躍し、オリンピック選手やプロサッカー選手も輩出しています。

式では、卒業生代表の宇佐美海希さんが「3年間、最後の生徒として誠実に向き合ってきました。最高の仲間と一緒に卒業でき幸いです」と述べ、学び舎に別れを告げました。4月以降、同校の施設は、北海道大谷室蘭高校の部活動などに利用される予定です。



▲卒業証書を受け取る卒業生

全国のマスターズ 登別に結集

第36回JSCA全国マスターズスイミングフェスティバル

3月9日(土)・10日(日)、市民プール『らくあ』で『第36回JSCA全国マスターズスイミングフェスティバル』(日本スイミングクラブ協会主催)が開催され、道内外からエントリーした18歳〜90歳代までの約600人の選手が一堂に会し、日ごろの練習の成果をプールにぶつけました。

『健康・友情・相互理解・競技』がモットーのマスターズ水泳は、より良い記録を目指す選手はもちろん、自分のペースで泳ぎ切ることを目標にする選手も多く出場し、完泳を称賛する温かい拍手が何度も沸いていました。



ありがとうを届けたい

3・11を忘れない

東松島市鳴瀬第二中学校 ありがとう交流会

3月12日(火)、宮城県東松島市の鳴瀬第二中学校の2年生38人が、被災地支援への恩返しをしたいと修学旅行で登別市を訪問。市民会館で行われた『ありがとう交流会』(同会を応援する会主催)で、和太鼓演奏や民謡踊りなどを感謝の気持ちを込めて披露しました。

熱い思いがこもった舞台に、会場からは大きな手拍子と割れんばかりの拍手が湧き上がりました。

登別からは応援メッセージとして、登別明日中等教育学校合唱部による鳴瀬第二中学校の校歌斉唱、続いて参加者全員による校歌斉唱が行われ、会場は一体感に包まれました。

最後は生徒代表の千葉大誠さんから「これからも、自分たちなりに復興に向けて頑張ります。今日のことには忘れません。ありがとうございました」とお礼の言葉が述べられました。



▲エジプトダンスを披露する鳴瀬第二中の生徒 (写真上)

